



## 特定非営利活動法人 京都舞台芸術協会

### 2024 年度 定例総会

～資料～

本年度定例総会はオンラインビデオチャット方式で行います

とき：2024年5月25日（土）10:30～12:30（ビデオチャットは10:20より開設）

※ご出席方法などは別紙案内をご覧ください

#### 次第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長の選任 (P. 2)
4. 議事（審議事項）
  - ・ 第1号議案 2023年度 活動報告 (P. 2)
  - ・ 第2号議案 2023年度 収支決算報告 (P. 10)  
～会計監査報告～ (P. 11)
  - ・ 第3号議案 2024年度 活動計画（案）(P. 12)
  - ・ 第4号議案 2024年度 収支予算（案）(P. 17)
5. 会議録（理事会）(P. 18)
6. 議事録署名人の選任 (P. 18)
7. 閉会

# 議長の選任

定款第26条にもとづき、総会出席者の中から議事をすすめる議長を選出します。  
以降、議長は総会の進行を務めます。

## ■ 定款 第26条

第5章 総会

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

# 第1号議案 2023年度活動報告

## 2023年度に京都舞台芸術協会が行った活動

### ■ A 互助事業

- ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営
- ② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

### ■ B 企画事業

- ① 【継続】インターンシップ受入
- ② 【継続】俳優のためのワークショップ企画「“あなた”と“表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2023（中止）
- ③ 【新規】「ASOVIVA!」
- ④ 【新規】舞台芸術と「トリガーアラート」について考えるレクチャー&ワークショップ

### ■ C 連携事業

- ① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 【継続】各団体への後援、共催など
- ④ 【新規】PARA「京都アート拠点ツアー」（中止）

### ■ D 発信事業

- ① 【継続】情報発信（WEBサイト・会報・SNS）

## A 互助事業

### ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営

#### ■ 目的

2018年度から継続して、京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとって共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に検討するなど、インフラとしての機能をより強化する。

## ■ 実施内容

日時：通年

形態：協会 WEB サイトに専用メールフォームを設置および代表メールアドレス宛の問合せ対応

2023 年度相談件数：2（メールフォーム：1、代表メールアドレス：1）

## ■ 成果と課題

2023 年度はメールフォームから 1 件、代表メールアドレス宛に 1 件の相談が寄せられた。数としては少ないが、こういった窓口が常設されているということに意義があると考え、広報にも力を入れていければと思う。また、市内で相談窓口を設けている京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）や HAPS などとの協力関係も継続していきたい。

## ② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

---

### ■ 目的

前年度に引き続き、交流会事業を行う。舞台芸術に携わる方や興味のある方を多様につなぐハブとしての役割を果たすため、協会員同士の、また協会員と非協会員との接点を見つめ、各自の問題意識のすり合わせや課題の共有を主体的に行うための場づくりを行う。また、協会そのものや協会の事業について知って頂く入り口としての位置づけも果たす。

### ■ 実施内容

#### 「京都という創作環境をめぐる vol. 6」

日時：2023 年 7 月 12 日（水）20：00～22：00

会場：オンライン会議ツール「zoom」ミーティングルーム

参加費：無料

参加者：23 名

#### 「月 1 だべりば」

日時：

X（旧 Twitter）開催

2023 年

4 月 11 日（火）10:00-11:00、6 月 28 日（水）10:00-11:00、8 月 28 日（月）19:30-20:30、

10 月 25 日（火）20:00-21:00、12 月 28 日（火）11:00-12:00

2024 年

3 月 25 日（月）19:00-20:00、4 月 25 日（木）19:00-20:00

Zoom 開催

2023 年

5 月 31 日（水）19:30-20:30、7 月 19 日（火）19:30-20:30、9 月 26 日（火）19:30-20:30

11 月、1 月、2 月は不開催

会場：オンライン会議ツール「zoom」ミーティングルームと「X（旧 Twitter）」のスペース機能を交互

参加費：無料

参加者：10 回合計 109 名

#### インターン生企画「舞台芸術を続けたい人のための交流会」

日時：2024 年 3 月 9 日（土）18:00-20:30

会場：京都市東山青少年活動センター ロビー

参加費：無料

参加者：14名

協力：京都市東山青少年活動センター

#### ■ 成果と課題

2023年度は計12回交流会を実施し、うち11回はオンラインでの開催となった。

2018年以降同じテーマで続けている「京都という創作環境をめぐる」は創作環境を支える施設や中間支援組織などで働く方々と実演家が繋がる機会として役割をはたしている。またオンライン化以降は京都やその近郊以外の地域の方が京都について気軽に情報収集できる場としても活用されていると感じる。

「月1だけりば」は隔月でZoomとTwitterのスペース機能を交互に使用して開催したが、コロナ禍での制限がなくなり実際に対面での交流が出来るようになったこともあってかZoom開催の需要は昨年度までに比べ減り、開催に至らない月もあった。

X(旧Twitter)のスペース機能を使用したものでは昨年度に続き参加者の繋がりから直接フォロー関係にない人の参加も多く、その場で協会のアカウントをフォローしてもらえるなど協会活動の周知や交流の継続に繋がっている。

インターンシップ生による企画「舞台芸術を続けたい人のための交流会」は学生劇団所属や社会人として活動をはじめている若手を中心に参加者が集まり、ゲストのこれまでのキャリアを紹介しながら盛んにディスカッションが行われた。

今後とも対面、オンライン問わず舞台芸術関係者の交流の場所を作るとともに協会活動を知ってもらうきっかけとして交流会を活用していきたい。

## B 企画事業

### ① 【継続】 インターンシップ受入

#### ■ 目的

若手育成の場として実施する。主には舞台芸術活動を志す18歳以上の若手を対象とする。京都の舞台芸術について知ってもらい、活動における選択肢を増やし、各々の舞台芸術への関わり方をインターン生自身で模索する機会となることを目指す。この事業を通じて、協会としても若手と繋がり、彼らにどういった活動支援が重要か検討し、様々な実践へと繋げていくことを目的とする。

#### ■ 実施内容

公募により2名のインターン生を選定。

2023年7月～2024年4月までの期間活動した。

<主な活動内容>

- ・毎月の理事会への参加と議事録の担当
- ・主催事業へのスタッフ参加
- ・ようこそアーティスト見学
- ・京都の舞台芸術関係施設（THEATRE E9 KYOTO、芸術準備室ハイセン、HAPS、京都芸術センター）の訪問と、訪問後レポートの作成
- ・イベント「舞台芸術を続けたい人のための交流会」@京都市東山青少年活動センターの企画実施

<スケジュール>

2023年5月下旬～ インターンシップ生の公募

6月9日、6月15日 オンライン説明会を実施

6月中旬～7月上旬 面接と選考

7月20日 理事会へ初出席。活動スタート

8月8日 協会の事業についてのオリエンテーション

9月27日 THEATRE E9 KYOTO への訪問

11月21日 ようこそアーティストの実施見学（実施場所：下鴨小学校）

2024年

1月9日 芸術準備室ハイセンへの訪問

1月27日 インターン生企画のためのミーティング①

2月5日 インターン生企画のためのミーティング②

3月2日 HAPS オフィスへの訪問、インターン生企画のためのミーティング③

3月5日 “舞台芸術と「トリガーアラート」について考えるレクチャー&ワークショップ”へのスタッフ参加

3月9日 インターンシップ生企画「舞台芸術を続けたい人のための交流会」

4月16日 京都芸術センター訪問

#### ■ 成果と課題

本年度でインターン事業も3年目となった。活動内容のひとつ、インターン生が企画した交流会では、8名の方にご参加いただいた。大学を卒業してからも舞台活動をしたいと考えているが悩んでいる人と、すでに活動を続けている経験のある人を繋ぐ良い機会となった。また、当日に向けての準備も、進行内容や施設とのやりとりなど、企画立ち上げから実行までのフローを理事である上の世代からアドバイスを受けながら進めたことはひとつ学びになったのではないと思う。協会でのインターン活動を通して、通常の活動では出会えない人と話をしたり、舞台芸術にまつわる情報をきいたりなどの機会を提供することができたのではないと思う。協会としても、各施設にどんな方がいてどんな事業活動をしているのかということや、協会自体がどのような活動をしているのかを若い世代に伝えることができたことは、今後の協会や京都の舞台芸術の発展に繋がっていくのではないかと期待している。

## ② 俳優のためのワークショップ企画「”あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』—アレクサンダー・テクニクにできること」2023（中止）

---

昨年に引き続いての開催を予定しておりましたが、事業担当者の活動可能なスケジュールに当初想定しなかった変更が発生し、円滑な運営ができないと判断したため、今年度の開催を見送ることといたしました。

## ③ 【新規】「ASOVIVA!」

---

#### ■ 目的

劇場では試しづらい表現に積極的に挑戦し、新たな表現を生む環境を作り出すこと  
創作意識を向上させるための、作品作りを前提としない研究・実験の場を提供すること

#### ■ 実施内容

3日間程度の集中的なワークショップを行う。

「優美な死骸」などシュルレアリスム的な手法も使いつつ、作品やシーンになる前のアイデアを、参加者持ち寄りの材料と機材を使って演劇表現に起こすことで「演劇で遊ぶ」ことを試みる。今年度は実験的に開催し、参加者公募は行わない。

日時：2023年8月24日(土)-25日(日)

会場：理事の竹内が使用している倉庫

参加者：9名（協会員を対象にした公募および関心を寄せていただけそうな個人への声かけ）

#### ■ 成果と課題

2日間通して実験的に演劇表現を模索した。参加者の感想では「専門に限らずフラットに提案できる時間が思った以上に遊べた」という評価を得ると同時に「もっと思い切って進行を手放してもいい」といった改善の意見も出た。振り返ってみると無意識になにか成果を得ようとしてしまっていたように感じられたので、次回開催することがあれば枠組みを改善して臨みたい。

## ④ 【新規】舞台芸術と「トリガーアラート」について考えるレクチャー&ワークショップ

#### ■ 実施内容

日時：2024年3月5日(火) 18:45~21:00

会場：京都芸術センター 大広間

対象：舞台芸術活動に携わっている方

参加費：1,000円

講師：本坊由華子（脚本家・演出家／精神科医）

参加者数：19名（定員20名）

主催：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、NPO法人京都舞台芸術協会

協力：さよならキャンプ

2022年度に「性的表現」をテーマに実施した事業を引き継ぎ、観客と作り手、そして作品を守るために、舞台芸術の制作や発表の場において必要な知識を学び、対話する機会として、京都芸術センターと共同主催で実施。

近年、徐々に認知が広がってきている「トリガーアラート（トラウマ [心的外傷的出来事] 体験を刺激する可能性のある表現について、あらかじめ周知すること）」をテーマに設定し、講師に本坊由華子氏（世界劇団主宰、精神科医）を招いた。また、企画の準備段階では、「観劇あんしんシート」を公開している福井の劇団・さよならキャンプにオンラインでヒアリングを行った。

当日のレクチャーでは、本坊氏の精神科医としての知見と演劇活動での経験、双方が活かされ、トリガーアラートに対して多角的な視点が示された。参加者同士のディスカッションでは活発な意見交換が行われた。

#### ■ 成果と課題

年代や舞台芸術への関わり方もさまざまな参加者が集まり、また、ディスカッションも白熱したことから、「トリガーアラート」というテーマへの関心の高さがうかがえた。専門家によるレクチャーを受け、ディスカッションを行うことで、ひとりひとりの主体的な思考が促され、このレクチャー&ワークショップの機会がそれぞれの現場において効果的な方法が検討されるための一助となっているのではないかと感じた。

引き続き、京都芸術センターと共にこういった機会の創出に取り組んでいきたい。

## C 連携事業

### ① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

#### ■ 実施内容

各回到舞台制作、マネジメントに関する講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関する講座とワークショップを、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市と共に主催した。社会と舞台芸術をむすぶ制作者たちの思考から、文化政策やアートマネジメント、舞台芸術における「プロ

デュース」のカタチまで、全9回の連続講座を開催。連続講座は各回完結の形で実施したため、通し受講だけでなく、単発受講の申し込みも受け入れて、舞台芸術における「プロデュース」のいろんなカタチを学んだ。昨年度に続いての実施となったが、ユース層の参加が増え、地域で活動する若手劇団やフリーランスの制作者を中心としたネットワーク構築が求められている現状が感じられた。また、ゼミ形式のワークショップでは、参加者と対話を通じて深い学び合いを行うことができ、通し受講生どうしのネットワークも生まれ始めている。

講座内容：レクチャー＋ワークショップ（各80分）

ファシリテーター：渡邊裕史（ソノノチ・ワークショップデザイナー）

アドバイザー：小倉由佳子、川崎陽子、谷竜一、和田ながら、渡邊裕史

※ワークショップは通し受講の方のみ

会場：ロームシアター京都、京都芸術センター

通し受講生：20名

単発受講生を合わせた延べ人数（通し受講生の欠席を除く）：203名

■第1回 舞台芸術プロデュース ことはじめ

日程：10月30日（月）

講師：小倉由佳子（ロームシアター京都 プログラムディレクター）

■第2回 ケース1 劇団

日程：11月6日（月）

講師：垣脇純子（MONO 制作）

前田瑠佳（エイチエムピー・シアターカンパニー 制作）

吉岡ちひろ（劇団なかゆび 制作）

■第3回 知っておきたい文化政策～アートマネージャーのための基礎知識～

日程：11月13日（月）

講師：小島寛大（芸術文化観光専門職大学）

■第4回 京都市・大阪市の文化政策とアーツカウンシルの役割

日程：11月20日（月）

講師：倉谷誠（京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課長）

宮崎優也（大阪アーツカウンシル 統括責任者）

■第5回 ケース2 劇場

日程：11月27日（月）

講師：あごうさとし（THEATRE E9 KYOTO 芸術監督）

山本麦子（愛知県芸術劇場 プロデューサー）

■第6回 ケース3 フェスティバル

日程：12月4日（月）

講師：川崎陽子（KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター）

■第7回 ケース4 制作会社

日程：12月19日（火）

講師：伊藤達哉（ゴーチ・ブラザーズ 代表取締役）

■第8回 舞台芸術プロデュース3.0 ～コロナ後の世界における、演劇と劇場の捉え直しをめぐる放浪

日程：12月26日（火）

講師：荒井洋文（一般社団法人シアター&アーツうえだ/犀の角 代表・プロデューサー）

■第9回 ふりかえり

日程：2024年1月22日（月）

運営メンバー：

川崎陽子（KYOTO EXPERIMENT）、和田ながら（NPO 法人京都舞台芸術協会）、谷竜一・三好帆南（京都芸術センター）、小倉由佳子・山形ゆき・木原里佳（ロームシアター京都）

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、KYOTO EXPERIMENT、NPO 法人京都舞台芸術協会、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化）、独立行政法人日本芸術文化振興会

KYOTO EXPERIMENT 2023 関連プログラム

## ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦

---

### ■ 目的

京都市では、2007 年度から芸術家を小中学校へ派遣する事業を始めた（京都市が公益財団法人京都市芸術文化協会に事業委託し、京都市芸術文化協会がアーティストと学校現場の仲介を行う）。その事業が「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」である。専門家集団である京都舞台芸術協会は窓口としての役割を果たし、芸術家の仕事について市民に広く知ってもらい、かつ舞台芸術の魅力をアピールする機会とする。

### ■ 実施内容

今年度は合計 3 校の講師推薦を行った。

#### ● 演劇・身体表現

- ・ F. ジャパン（劇団衛星）：中学校 3 年生
- ・ 中谷和代（ソノノチ）：小学校 4 年生

#### ● 演劇・テクニカル

- ・ 葛西健一（一般社団法人アーツシード京都）：小学校 5 年生

## ③ 【継続】各団体のへの後援、共催など

---

### ■ 共催

演劇ビギナーズユニット 2023

期間：2023 年 6 月 12 日（月）-10 月 5 日（木）

会場：京都市東山青少年活動センター

主催：京都市／公益財団法人 京都市ユースサービス協会

### ■ 後援

中学・高校生のための演劇ワークショップ 2023 夏 「もっと知りたい!演劇の創り方」

日程：2023 年 7 月 23 日（日）-8 月 27 日（日）

会場：京都市東山青少年活動センター

主催：京都市東山青少年活動センター（指定管理者：公益財団法人 京都市ユースサービス協会）

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

公益財団法人日本芸能実演家団体協議会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン 2））

独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名：JAPAN LIVE YELL project

企画：大熊ねこ（遊劇体）

BARACKE の夏の演劇ワークショップ in 京都 「言葉のリズム～私と社会をつなぐもの～」

日程：2023 年 8 月 25 日（金）10:00-22:00

会場：人間座

主催：BARACKE

#### ④ 【新規】 PARA 「京都アート拠点ツアー」（中止）

---

##### ■ 概要

東京・神保町にあるアートスクール兼劇場の「PARA」が主催する「京都アート拠点ツアー」について、共催者として参画し準備していたが、PARA 側の経営判断として実施を見送る旨の申し出があり、承認した。

日程：2024 年 2 月 10 日（土）～ 12 日（月・祝）

主催：PARA

## D 発信事業

---

#### ① 【継続】 情報発信（WEB サイト・会報・SNS）

---

前年度に引き続き年 2 回会報の発行を行い、WEB サイト及び SNS を活用して協会で行う事業の情報発信が随時行われた。また、WEB サイトの改築準備を進めた。

各事業の情報発信が途切れなかった事もあり X（旧 Twitter）のフォロワー数は

2021 年度末 367 名

2022 年度末 508 名

2023 年度末 613 名

2024 年 4 月 25 日時点で 729 名とコロナ禍が落ち着いても順調に増加した。

Facebook フォロワー数は

2023 年度末 219 人

2024 年 4 月 25 日時点で 231 人

いいね数は

2023 年度末 195 件

2024 年 4 月 25 日時点で 203 件と X（旧 Twitter）に比べ更新が少なかったこともありあまり伸びなかった。

## 第 2 号議案 2023 年度 収支決算報告

---

---

## 2023 年度決算

### 収入

費目	細目	金額	備考
会費	個人会費・団体会員	¥273,000	19個人・12団体
	賛助会費	¥6,000	2団体
寄付		¥0	なし
助成金		¥0	なし
事業収入		¥0	なし
前受金		¥0	
雑収入			
当期収入合計		¥279,000	
前年度繰越金		¥175,790	
合計		¥454,790	

### 支出

費目	細目	金額	備考
事業費	互助事業	¥0	交流会事業(会場費・飲食費など)
	企画事業	¥0	俳優向けワークショップ(講師謝金等)
		¥0	協会アーカイブ
		¥3,980	ASOVIVA!
		¥9,505	インターン受け入れ
	発信事業	¥8,611	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
		¥11,749	会報作成・発送費
	協賛金	¥10,000	演劇ピギナーズユニット協賛金
管理費	地代家賃	¥6,240	京都市市民活動総合センターロッカー(中)
	通信運搬費	¥28,550	郵送費、切手代、Zoom有料アカウントなど
	印刷製本費	¥1,937	選挙資料・理事会・総会等書類作成費用
	消耗品費	¥325	事務用品
	支払手数料	¥165	
	租税公課	¥0	
	諸会費	¥10,000	京都市芸術文化協会 会費
	旅費交通費	¥2,430	事務局交通費など
	雑費	¥1,650	
当期支出合計		¥95,142	

当期収支差額	¥183,858
次年度繰り越し金見込み	¥359,648

### NPO法人 京都舞台芸術協会 令和6年3月31日現在 貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金	¥5,851	預り金	¥0
ゆうちょ銀行	¥287	前受金	¥6,000
郵便振替口座	¥230,639	未払金	¥16,240
京都銀行	¥145,111		
未収金	¥0	前期繰越正味財産	¥175,790
前払金	¥0	当期正味財産増減額	¥183,858
	¥381,888		¥381,888

# 会計監査報告

## 監査報告書

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会  
理事長 丸山 ながら 殿

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会の2023年度会計について、通帳・帳簿・領収書を精査し、問題のないことを確認いたしました。

2024年4月20日

植村 純子 

2024年5月1日

田中 遊 

# 第3号議案 2024年度活動計画（案）

## 2024年度の活動計画（案）

### ■ A 互助事業

- ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営
- ② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

### ■ B 企画事業

- ① 【継続】インターンシップの受入
- ② 【継続】舞台芸術と表現について考えるレクチャー・ワークショップ
- ③ 【継続】京都舞台芸術協会アーカイブ
- ④ 【新規】「俳優活動を向上するためのワークショップ（仮）」
- ⑤ 【新規】「Notes of Actors 2025」

### ■ C 連携事業

- ① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 【継続】各団体への後援、共催など

### ■ D 発信事業

- ① 【継続】情報発信（WEBサイト・会報・SNS）
- ② 【新規】四半期だべりば

## A 互助事業

### ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営

#### ■ 目的

京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用する（2018年度より継続）。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとっても共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に検討する等、インフラとしての協会の機能をより強化する。

#### ■ 概要

「なんでも相談窓口」に寄せられた相談については、理事会および事務局がメールもしくは直接／オンラインの面談によって対応する。相談内容に応じて、理事および協会員のネットワークを活用し、アドバイス、施設・組織・人の紹介などのサポートを行う。また、理事会の知見の範疇を越える内容の場合は、課題解決に対して適切な専門家・機関とつなぐ。

### ② 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

#### ■ 目的

2018年度より継続している「交流会」事業に本年度も取り組む。これまで交流会事業は協会員・非協会員をつなぐ場として、また、協会のことをより深く知るきっかけとして機能してきた。コロナ禍以降、オンラインでの実施が中

心となっていたが、対面での実施にも取り組むことで、より実効的なネットワーキングの機会創出を目指す。

#### ■ 内容

##### 「京都という創作環境をめぐる vol. 7」

創造環境の整備や支援をミッションとする団体等のメンバー、スタッフを多く招き、実演家も混ざりながら交流や情報交換を行う。2020年度以降はオンラインで開催してきたが、今年度は対面での実施を検討している。

##### 「こどもとアート～ファシリテーターの現状～(仮)」

「こどもとアート」というテーマを基に、現在WSファシリテーターとして活躍する団体や個人を招き、実演家も混ざりながら交流や情報交換を行う。

## B 企画事業

### ① 【継続】 インターンシップの受入

#### ■ 目的

若手育成の場としてインターンシップの受け入れを実施する。主には舞台芸術活動を志す18歳以上の若手を対象とする。京都の舞台芸術について知ってもらい、活動における選択肢を増やし、各々の舞台芸術への関わり方をインターン生自身で模索する機会となることを目指す。この事業を通じて、協会としても若手と繋がり、彼らにどういった活動支援が重要か検討し、様々な実践へと繋げていきたい。

#### ■ 内容

演劇やダンス、テクニカルスタッフや制作者など分野を問わず、舞台芸術に興味関心がある人、あるいはすでに活動している人、活動を継続してきたい人を対象にインターンシップ生を募集する。活動内容としては、以下を予定している。

- ・毎月の理事会への参加と議事録の担当
- ・主催事業へのスタッフ参加
- ・劇場など舞台芸術関係施設の訪問（現在、4カ所程度を検討中）
- ・インターンシップ活動ごとのレポート作成

また、実際のインターンシップ生の要望に応じて、昨年度同様に実践の場も検討する（昨年度実施「舞台芸術を続けたい人のための交流会」@京都市東山青少年活動センター）

### ② 【継続】 舞台芸術と表現について考えるレクチャー・ワークショップ

#### ■ 目的

2022年度から京都芸術センターと共同主催で取り組んでいる、観客と作り手、そして作品を守るために、舞台芸術の制作や発表の場において必要な知識を学び、対話するレクチャー&ワークショップ。

#### ■ 内容

これまでは「性的表現」、「トリガーアラート」をテーマにレクチャー&ワークショップを実施してきた。今年度も、舞台芸術の現場において知識の共有と現場での検討が必要だと思われるテーマを設定し、専門家を招いたレクチャーと、参加者同士のディスカッションを行う。

### ③ 【継続】 京都舞台芸術協会アーカイブ

---

#### ■ 目的

協会の歴史を辿り直すことで、京都における舞台芸術の状況の変遷を概観し、それをもとに対話を広げていくことで、将来に向けて協会がどのような組織であるべきか、また京都の環境がどのように変わっていくべきかの指針をあらためて検討する。

#### ■ 内容

京都舞台芸術協会の年表や過去の事業について、まとまった形で触れられるアーカイブを作成し、協会のウェブサイトに公開する。アーカイブは、協会の広報素材として、会員募集や活動の周知に積極的に活用する。

### ④ 【新規】 俳優活動を向上するためのワークショップ（仮）

---

#### ■ 目的・ねらい

自分自身で“俳優の向上とは何か”を考え試行する力を持つことは、「魅力的」「才能がある」といった感覚的な評価に頼らずとも自身の活動を続ける支えとなる。このWSはその力を養うきっかけとなることを目指し、目に見えにくい技術が求められる俳優の仕事を、物理的・具体的なアプローチから見つめなおす。

#### ■ 内容

「声」「身体」「戯曲読解」とテーマを分け、それぞれのジャンルにまつわる講師を招き、俳優の技術を向上するためのレクチャーや身体ワークを行ってもらう。

対面での実施を予定。

日程：2024年7月～8月の期間中、計6回を予定

会場：京都市内

### ⑤ 【新規】 「Notes of Actors 2025」

---

#### ■ 目的・概要・展望

京都の演劇界は大学時代のつながりや縁故に強く依存しており、出演者は同世代や決まった範囲に限定されがちであり、俳優個人個人の考え方をアピールする機会も少ない。

そこで本企画では、俳優に5分から20分程度の自由な表現時間を与え、動画を撮影・公開する。事前に指定された10程度の共通の質問をもとにインタビューを行い、撮影・公開する。出演者は京都府内で俳優として活動する意志があることが条件である。この企画によって、俳優が何を目指し、何を考えているのか、その一部が伝わり、よい作品創作機会・創作環境につながることを期待できる。

#### ■ 内容

(1) 俳優10名による、5分から20分程度のパフォーマンス動画の撮影・公開

(2) 上記と同時に、インタビュー動画の撮影・公開

#### ■ スケジュール

今年度内の準備を経て2025年度の始めごろに実施する予定

## C 連携事業

### ① 【継続】舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

#### ■ 目的

地域の舞台芸術の専門人材の知識・能力向上や発掘を目指す。特に、ユース層が広い視点でこれからの舞台芸術を考え、志す契機とする。

#### ■ 内容

2022年から継続して取り組んでいる事業。制作者向けの連続講座をロームシアター京都、KYOTO EXPERIMENT、京都芸術センター、京都市と共同主催で実施。実施は年度後半を予定、講座内容の詳細についてはこれから検討・調整を進めていく。

期間：2024年11月～2025年1月（予定）

会場：ロームシアター京都 京都芸術センター ほか

対象：18歳以上の舞台芸術プロデュース、マネジメントに興味を持っている方。舞台制作業務に携わっている方。自身の団体等で運営・企画に携わっている方など。経験不問。

※「通し受講」については、講座日に概ね参加できる方。

※オンライン受講は予定しておりません。

受講料：通し受講6,000円（初回納入）、単発受講1,000円

定員：通し受講20名（申込多数の場合は抽選）、単発10名程度（先着順）

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、KYOTO EXPERIMENT、NPO法人京都舞台芸術協会、京都市

### ② 【継続】各団体への後援、共催など

前年度同様、随時募集し、理事会にて審議し承認する。

## D 発信事業

### ① 【継続】情報発信（WEBサイト・会報・SNS）

前年度に引き続き、年2回の会報の発行とWEBサイト及びSNSでの発信を活用し、協会の活動内容の可視化に努める。

### ② 【新規】四半期だべりば

#### ■ 目的

2021年度より交流会事業として「月1だべりば」を開催してきたが、今年度は四半期ごとの事業紹介や活動報告などを含め広報的な目的をもって開催する。

#### ■ 内容

協会が保持するX（旧Twitter）アカウントを使用し、協会理事や事務局メンバーがラジオ的に話す。

「月1だべりば」はテーマや目的を定めずに行う雑談的な良さもあったが、月に1度の開催では協会の主だった事業

活動がない時期も多く、協会活動を知ってもらおうという目的に沿うため四半期に1度の開催に変更して開催する。

## 第4号議案 2024年度 収支予算（案）

### 収入

費目	細目	金額	備考
会費	個人、団体	¥180,000	30個人団体×6,000円
		¥6,000	2個人団体×3,000円
事業収入	交流会事業(創作環境)	¥15,000	参加費1000円×15人
	交流会事業(こどもとアート)	¥9,000	参加費1,500円×5人(非協会員)、500円×3人(協会員)
	実演家向けWS参加費	¥63,000	参加費2,500円×14人(非協会員)、2,000円×14人(協会員)
助成金		¥0	
当期収入合計		¥273,000	
前年度繰越金		¥359,648	
合計		¥632,648	

### 支出

費目	細目	金額	備考
事業費			
	互助事業	¥24,000	交流会事業(会場費・飲食費・ゲスト謝礼など)
	企画事業	¥65,800	俳優向けワークショップ(講師謝金等)
		¥0	協会アーカイブ
		¥0	Notes of Actors
		¥22,000	インターン受け入れ
	発信事業	¥8,281	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
		¥15,000	会報作成・発送費
	協賛金	¥10,000	演劇ビギナーズユニット協賛金
管理費			
	地代家賃	¥6,240	京都市市民活動総合センターロッカー(中)
	通信運搬費	¥30,000	郵送料、切手代、Zoom有料アカウントなど
	印刷製本費	¥2,000	理事会・総会等書類作成費用
	消耗品費	¥7,500	事務用品
	租税公課	¥1,500	印紙など
	諸会費	¥10,000	京都市芸術文化協会 会費
	旅費交通費	¥5,000	事務局交通費など
	雑費	¥5,000	
	支払手数料	¥1,650	
当期支出合計		¥213,971	

当期収支差額	¥59,029
次年度繰り越し金見込み	¥418,677

# 会議録（理事会）

---

2023年度、下記の日程で理事会を実施した。

## ■ 実施日時

2023年

4月28日	20:00-22:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
5月28日	12:30-15:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
7月1日	10:00-12:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
7月20日	9:00-11:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
8月29日	18:30-20:30	於・京都市市民活動総合センター
9月22日	19:00-21:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
10月24日	10:00-12:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
11月22日	9:00-10:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
12月28日	9:00-10:30	於・オンライン（Zoomミーティング）

2024年

1月24日	9:00-10:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
2月22日	19:00-20:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
3月27日	19:00-21:00	於・京都市市民活動総合センター

# 議事録署名人の選任

---

以上の議事をもとに議事録を作成し、議長が選出した署名人が署名・捺印をし、所轄庁に議事録を提出します。

## ■ 定款の該当項目

### 第5章 総会

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
  - (2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者又はオンライン会議システムによる表決者がある場合にあっては、その数を付記すること）
  - (3) 審議事項
  - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。